

(1時間:45分)

	授 業 科 目	必須/選択の別	学年	標準時間数
11510	HTML演習	必須	2	30
11640	オブジェクト指向設計	〃	2	30
13760	SEA/J基礎	〃	2	60
13820	Javaプログラミング応用	〃	2	60
13825	Java活用	〃	2	30
15850	PHP	〃	2	60
17701	統計学1	〃	2	30
17710	簿記会計	〃	2	30
20020	キャリアデザイン2	〃	2	30
91041	英語1	〃	2	30
91042	英語2	〃	2	30
91140	オペレーティングシステム論	〃	2	30
91190	経営学概論	〃	2	30
91300	流通論	〃	2	30
92000	経営情報学概論	〃	2	60
	小計			570
98114	総合情報処理1-2(レベル2)	必須選択 ※1	2	60
98115	総合情報処理1-2(レベル3)	〃	2	60
98116	総合情報処理1-2(レベル4)	〃	2	60
99102	自主課題研究1-2	〃	2	60
98121	総合情報処理2(レベル2)	〃	2	120
98122	総合情報処理2(レベル3)	〃	2	120
98123	総合情報処理2(レベル4)	〃	2	120
99103	自主課題研究2	〃	2	120
98131	総合情報処理3-1(レベル2)	〃	2	100
98132	総合情報処理3-1(レベル3)	〃	2	100
98133	総合情報処理3-1(レベル4)	〃	2	100
99104	自主課題研究3-1	〃	2	100
20010	キャリアデザイン1	選択 ※2	2	30
	小計			280
	必須科目計			850

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

※2 1年次に履修していないときに必須選択とする。履修したとき合計880時限となる。

月	HCS共通行事		外部資格試験		大学コーススクーリング・試験日程		大学併修科 2年			
4	1	火	前期授業開始			1	火	前期インターネットメディア授業開始	<b>【大学科目】</b> マーケティング論 情報システム学概論Ⅰ 心理学 「英語Ⅱ(初級英会話)」 「オペレーティングシステム基礎論」 「流通の仕組み」 アントレプレナーシップ論 定量分析とその応用  <b>【専門学校科目】</b> キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 オブジェクト指向設計 統計学1 HTML演習 SEA/J基礎 経営情報学概論 (Javaプログラミング応用) (簿記会計) 「英語2」 「オペレーティングシステム論」 「流通論」 総合情報処理1-2(レベル2~4) 自主課題研究1-2 総合情報処理2(レベル2~4) 自主課題研究2  <b>【資格試験】</b> ・基本情報技術者試験 ・応用情報技術者試験 (基本情報技術者試験取得者)	
	3	木	HIU入学式(新入生)		*例年実施される月または実施予定日で記入してあります。					
	4	金	入学式(新入生)							
	7	月	オリエンテーション・防犯講話(新入生)				7	月		前期IPメディア授業放映開始
	8	火	授業開始・オリエンテーション(新入生)							
	21	月	健康診断(4/24まで)							
5	22	火	G-DREAMS ボウリング大会	20	日	情報処理技術者試験				
	7	水	新入生保護者会 5/16まで							
							19	月		印刷・インターネットメディア授業科目試験① ~26(月)
6	前									
			ボウリング大会							
	10	火	運動会							
7	期			8	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験				
	17	火	献血			情報活用試験	20	金	前期地方SC(2) アントレプレナーシップ論 ~22(日)	
8							30	月	前期IPメディア授業科目試験 ~3(木)	
				13	日	マルチメディア検定				
	26	土	夏休み 8/19まで							
9							15	火	印刷・インターネットメディア授業科目試験② ~22(火)	
	20	水	夏休み明け授業開始							
9							4	月	夏期本学SC 定量分析とその応用 ~6(水)	
	5	金	学園祭							
	25	木	TGS2025 9/28まで			情報システム試験				



科目番号：A-20422

科目名		時間数(90分)			
HTML演習		講義	演習	実習	合計
			15		15
科目概要	インターネットを通じて日常的に利用している Web ページのしくみを学ぶ。また、様々な利用者がいることを想定し、使いやすい Web ページとはどのようなものかを考察する。その後、作成を通じて理解する。				
学習到達目標	HTML, CSS, JavaScript の基本的な機能を理解し、デザインを意識した Web ページを作成できる。作成の際には専用エディタを使用し、効率的な Web ページ制作を行うことができる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	導入 ・環境構築 ・科目の目的	11	ポートフォリオを作ろう	
2	HTML の仕組み	12			
3	画像の表示	13			
4	リンクの指定	14			
5	文章構造とレイアウト	15	まとめ		
6					
7	CSS				
8	テーブル				
9	フォーム				
10					
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	世界一わかりやすい HTML&CSS コーディングとサイト制作の教科書	技術評論社		
	副教材				
実習環境	Visual Studio Code				
	Google Chrome				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21911

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
オブジェクト指向設計		15			15
科目概要	<p>顧客の要求から要件定義を作成する手順や仕様を決定する方法について、講義と演習問題を通してシステム設計に必要なスキルを習得する。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>オブジェクト指向によるシステム設計の手順や手法を習得し、システム設計の成果を、UMLを使って具現化できる技術を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	科目の概要	14	総復習	
	2 ～ 3	ユースケース図	15	評価試験	
	4 ～ 5	クラス図			
	6	オブジェクト図			
	7 ～ 8	シーケンス図			
	9	コミュニケーション図			
	10 ～ 11	ステートマシン図			
	12 ～ 13	アクティビティ図			
	使用教材	書籍名		出版社	
主教材		かんたん UML 入門	技術評論社		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
SEA/J基礎		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	<p>情報セキュリティ全般の知識について、SEA/J基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。</p> <p>なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティにかかわるシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	SEA/J基礎(CSBM)資格を取得し、企業等でセキュリティ・リーダーとなる基礎知識を習得する				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	情報セキュリティマネジメント	15	ID管理と認証、パスワード認証、バイOMETRICS認証、認証デバイス	
2	セキュリティ運用	16		認証プロトコル、シングルサインオン、アクセス制御手法	
3	インフラセキュリティ		5	プログラミング	
4		17		不正アクセス	
5	不正アクセス		18	不正プログラム	
6	ファイアウォールの概念	19		不暗号の基礎、共通鍵	
7	ネットワークアクセスコントロール		20	公開鍵、その他の鍵	
	NAT	21		電子署名	
8	ファイアウォールの導入と運用		22	PKI	
9	IDSの概要と構成	23		セキュリティプロトコル	
	検知アルゴリズム		24	標準規格	
10	侵入検知関連技術	25		法令	
11	アプリケーションセキュリティ(DNS、電子メール)		26	資格試験対策	
12	アプリケーションセキュリティ(Web)	27			
	サービス管理、ファイルシステム管理、アカウント管理、ネットワーク保護		28	科目試験	
13		29			
14	修正プログラムの管理、ログ管理、監査機能、TrustedOS		30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	情報セキュリティ技術認定 基礎コーステキスト	SEA/J		
	副教材	SEA/J情報セキュリティ技術認定テキスト 基礎編問題集A	SEA/J		
		SEA/J情報セキュリティ技術認定テキスト 基礎編問題集B	SEA/J		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報セキュリティ技術認定 基礎(CSBM)		SEA/J		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21701

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
Javaプログラミング応用		15	15		30	
科目概要	<p>Java のプログラミングにおける応用技術を学ぶ。特に、メソッドの使い方、複数のクラスを用いた開発、オブジェクト指向プログラミング (OOP) の基本をわかりやすく、実践的なプログラム作成を目指す。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>					
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>メソッドを活用して、効率的なコードを作成する技術を習得する</li> <li>複数のクラスを使ったプログラミングの実践を行う</li> <li>オブジェクト指向プログラミング (OOP) の原則を理解し、適用できるようになる</li> </ul>					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	科目の概要				
	2 ～ 10	復習				
	11 ～ 18	メソッド				
	19 ～ 24	複数のクラスを用いた開発				
	25 ～ 28	オブジェクト指向入門				
	29	総復習				
	30	評価試験				
使用教材	書籍名		出版社			
	主教材	スッキリわかる Java 入門	インプレス			
	副教材					
実習環境	エディタ (Visual Studio Code)					
目標資格	資格名		実施団体			
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：R-21941

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
Java 活用				15	15
科目概要	<p>Java プログラムにおける基本文法やオブジェクト指向プログラミングの基礎を活用してシステム作成を行う。システム作成を通じて Java およびオブジェクト指向に対する理解を深める。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>システム作成に取り組む事で、以下の事が理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Java のクラスの作り方</li> <li>• Java の利用の仕方</li> <li>• GUI の仕組み</li> </ul>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	科目のイントロダクション	6 7	オブジェクト指向を活用した簡単なアプリケーションの作成 ・アプリケーション作成③	
	2 3	オブジェクト指向を活用した簡単なアプリケーションの作成 ・アプリケーション作成①	8 10	オブジェクト指向を活用したアプリケーションの作成 ・アプリケーション作成④	
	4 5	オブジェクト指向を活用した簡単なアプリケーションの作成 ・アプリケーション作成②	11 15	オブジェクト指向を活用したアプリケーションの作成 ・アプリケーション作成⑤	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	別途指示			
	副教材				
実習環境	エディタ (IntelliJ)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)		<p>&lt;評価基準&gt; 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可</p>		

科目番号：A-20491

科目名		時間数(90分)				
PHP		講義	演習	実習	合計	
		5		25	30	
科目概要	Webアプリケーションを開発するうえで必要となるプログラミングとデータベース構築を、PHP と MySQL を用いたショッピングサイトを構築することで習得する。					
学習到達目標	PHP と MySQL を利用した、Web アプリケーションが作成できるようになる。先行科目で学んだ HTML と CSS の知識を用いて、見栄えの良いサイトを作成できるようになる。コマンド入力による、Linux サーバの基本的な操作ができるようになる。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	イントロダクション・環境設定		16	ショッピングカートの作成	
	2	Linux サーバの基本操作		17	カート内容表示ページの作成	
	3	PHP による画面描画		18		
	4	フォームによるデータの取得		19	注文ページの作成	
	5	制御構造 (if、for、while)		20	注文確認ページの作成	
	6	制御構造 (foreach)		21	注文完了ページの作成	
	7	MySQL の基本操作		22		
	8	PHP と MySQL の連携テスト		23	追加機能の検討	
	9	サイトのデータベース設計		24	追加機能の実装	
	10	ログイン・ログアウト処理		25		
	11	商品一覧ページの作成		26		
	12			27		
	13	商品詳細ページの作成		28	作品 PR 書の作成	
	14			29	評価課題 (ショッピングサイト) 提出	
	15	ショッピングカートの作成		30	評価試験	
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	確かな力が身につく PHP 「超」 入門		SB クリエイティブ		
	副教材					
実習環境	Linux サーバ (Apache、PHP、MySQL)					
	Web ブラウザ (Google Chrome)					
	テキストエディタ (Visual Studio Code)					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出 (50%)</li> <li>・科目試験 (50%)</li> </ul>			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21721

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
統計学1		6	5	4	15
科目概要	統計を使いこなすということは、データを物語るということである。前半は、統計を物語としてイメージしながら、統計のプロセスをひとつずつ理解し、それぞれのポイントを押さえていく。後半は、統計のおもしろさを実感してもらうために、活用事例の紹介と事例に即した演習・実習を行う。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロセスから統計を理解し、「表現手法として」統計を活用できるようになる。</li> <li>・活用事例をもとに統計手法を体験することで、統計を使用する感覚を身につける。</li> <li>・活用事例や演習課題をとおして、統計の使い方を理解し必要性を実感する。</li> </ul>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	「物語」と「統計」のカンケイ			
	2	物語の素材集め			
	3	～プランニング～			
	4				
	5	クライマックス ～データ分析と考察～			
	6	ストーリーをまとめる ～アウトラインとレポート～			
	7	活用事例1 ～スーパーの販売戦略～			
	8				
	9	活用事例2 ～天気と販売・仕入れ～			
	10				
	11	活用事例3 ～電子部品の品質管理～			
	12				
	13	活用事例4 ～健康食品のモニター調査～			
	14				
	15	科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	活用事例でわかる！統計リテラシー	noa 出版		
	副教材				
実習環境	Microsoft Office Excel 2019				
目標資格	資格名		実施団体		
	なし				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出 (50%)</li> <li>・科目試験 (50%)</li> </ul>		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21732

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
簿記会計		15			15
科目概要	企業活動を貨幣価格で記録する方法と根拠を学習し、企業の財産管理上の責任を解明し、かつ財産の保全を効率的に統制する手法を学ぶ。				
学習到達目標	簿記の基礎から一連の決算手続きと帳簿作成手順を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	簿記の概要、資産、負債、資本と貸借対照表等式	8	売掛金と買掛金および貸し倒れ・貸倒引当金	
	2	収益・費用と損益計算書等式、損益	9	貸付金・借入金から売買目的有価証券の評価	
	3	B/SとP/Lとの関係	10	受け取り配当金と有価証券利息	
	4	勘定記入のルール、仕訳と勘定への転記	11	固定資産の取得から減価償却費の記入方法および固定資産の売却	
	5	現金・小口現金の記帳	12	個人企業の資本の記帳、個人企業の資本金について、所得税、住民税、および事業税	
	6	3文法、商品売買の補助簿(仕入帳、売上帳、商品有高帳)、および売上利益の算出方法	13 14	まとめ	
	7	約束手形、為替手形の記帳方法、手形の裏書譲渡、割引、受取手形記入帳・支払手形記入帳	15	評価試験	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	サクッとわかる日商3級 商業簿記 テキスト	ネットスクール出版		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
キャリアデザイン2		講義	演習	実習	合計
				15	15
科目概要	自分のキャリア目標を明確にし、その実現に向けた計画を立てる力を養う。グループワークを活用し、仲間とともにキャリアプランを議論・発表しながら、企業の調査やレポート作成を行っていく。 本科目はIT企業で業務に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業調査の方法を学び、現実的なキャリア目標を設定する</li> <li>・サンプル企業の調査結果を整理し、論理的に表現する力を養う</li> <li>・調査結果をもとにグループワークを行い、新たな知見を得る</li> </ul>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	キャリアデザインの基本概念 ・キャリアデザインの意義と重要性 ・キャリアプランの立て方	8	企業調査の詳細③（並行分析と市場ポジション） ・競合分析の進め方 ・業界内での企業の立場確認	
	2	キャリア目標設定の方法 ・短期・中期・長期目標の設定 ・SMARTゴールを使った目標設定の実践	9	サンプル企業調査①（グループワーク） ・グループで調査対象の企業を選ぶ ・企業の基礎情報（業界・情報・企業文化）を収集	
	3	企業調査の基礎①（業界調査） ・業界研究の目的と手順 ・業界全体の動向（市場規模・成長性・トレンド）	10	サンプル企業調査②（グループワーク） ・調査結果をレポートとして整理	
	4	企業調査の基礎②（業界調査） ・業界レポートを利用した調査方法 ・業界団体のウェブサイトを活用したデータ収集	11	サンプル企業調査③（発表とフィードバック） ・グループで調査結果を発表	
	5	企業調査の基礎③（企業文化と職場環境） ・企業文化の調査方法 ・企業の「ミッション」「ビジョン」「バリュー」を理解する ・企業ホームページや採用情報における文化の表現の捉え方	12	グループワーク：キャリアパス設計 ・実際の企業におけるキャリアパスを研究する ・グループ内でキャリアパスのシミュレーションを行う	
	6	企業調査の詳細①（状況と成長性） ・財務諸表（決算報告書、IR資料）から企業の健全性を分析 ・売上・利益・キャッシュフローなどの数値分析方法	13 14	レポート作成 ・サンプル企業調査の結果をもとに、キャリアデザインレポートを作成 ・企業研究と自己分析を融合させたレポート作成方法	
	7	企業調査の詳細②（状況と成長性） ・視野狭窄 ・IR情報を活用した企業の戦略の把握	15	レポート提出 ・フィードバック（講師・学生） ・今後のキャリア形成に向けたアクション計画の策定	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	なし			
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出（100%）		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21741

科目名		時間数(90分)			
英語1		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	日常生活に必要な簡単な英会話やマナーを学習し、簡単な英文電子メールの知識と書き方等を学ぶ。				
学習到達目標	簡単な英文を理解し、英文サイトをある程度読むことができ、平易な文であれば英文で電子メールのやりとりができる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Chapter1 Introductions: Getting Acquainted	11	Chapter10 The Portland-Sapporo Sister City Party	
	2	Chapter2 Dinner with Miyu's Host Family	12	Chapter11 The Final Examination	
	3	Chapter3 Talking About Classes and Studies	13	Chapter12 Communication	
	4	Chapter4 Shopping	14	Chapter13 Miyu's Farewell Speech at Portland International Airport	
	5	Chapter5 Getting Out for Dinner	15	評価試験	
	6	Chapter6 Miyu's Part-time Job	16		
	7	Chapter7 At The Blazer Game	17		
	8	Review Chapter A Review of Chapters 1-7	18		
	9	Chapter8 Poking Around at Saturday Market	19		
	10	Chapter9 A Change of Pace	20		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Hang In There! Elementary Conversation in English (初版)	丸善プラネット		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21921

科目名		時間数(90分)				
英語2		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	文法に縛られた英語学習からの脱却を意図した講義で、日常生活における様々な場面を想定した表現法を学習し、chapter movie を見て実用的な英会話を学ぶ。					
学習到達目標	文法に特化せず、海外で通用するネイティブな会話技法を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	Greetings and introductions		16		
	2	Meeting people		17		
	3	Talking about your plans		18		
	4	Invitations		19		
	5	Ordering a meal		20		
	6	Use of the word "have"		21		
	7	Asking directions		22		
	8	Likes and dislike, Phone talk		23		
	9	Going to the doctor		24		
	10	Discussing experiences		25		
	11	Time words		26		
	12	Continuous actions and states		27		
	13	"Should", "must" & "have to"		28		
	14	Simple use of relative pronouns		29		
	15	評価試験		30		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	Simon Says -Basic English Conversation for Young Adults-		丸善プラネット株式会社		
	副教材					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
オペレーティングシステム論		15			15
科目概要	基本ソフトウェア(オペレーティングシステム)がどのような構造を持ち、どのような原理で動作しているのかを学習し、コンピュータの構成資源を仮想化し効率よく管理できる手法を学ぶ。				
学習到達目標	コンピュータの構成資源の仮想化の概念やオペレーティングシステムの基本的な役割(CPUスケジューリングアルゴリズム)など動作原理と特徴を理解する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	オペレーティングシステムとは(1) OSの目的と構成	11	並行プロセス(5) 古典的同期問題の例 「哲学者の食事問題」	
	2	オペレーティングシステムとは(2) 仮想的コンピュータ	12	並行プロセス(6) プロセス間通信とメッセージ受け渡し	
	3	CPUスケジューリング(1) 割り込み機構とシステムコール	13	並行プロセス(7) ソフトウェアによる相互排除の実現	
	4	CPUスケジューリング(2) プロセスの構造と状態遷移	14	並行プロセス(8) 古典的同期問題の例「眠り床屋問題」	
	5	CPUスケジューリング(3) CPUスケジューリングの目標	15	まとめ、評価試験	
	6	CPUスケジューリング(4) 様々なスケジューリングアルゴリズム	16		
	7	並行プロセス(1) プロセスの相互交渉の3形態	17		
	8	並行プロセス(2) ロック変数とビジーウェイトによる プロセス間の同期	18		
	9	並行プロセス(3) セマフォによるプロセス間の同期	19		
	10	並行プロセス(4) シーケンサとイベントカウントによる プロセス間の同期	20		
	使用教材	書籍名		出版社	
主教材		配布資料			
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-51881

科目名		時間数(90分)				
経営学概論		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	テイラーと科学的管理法, ファヨールと管理過程論, メイヨーと人間関係論, 行動科学アプローチ, 近代管理論, 経営組織論, 経営戦略論, ポーターとSCP理論をベースとした戦略フレームワーク, バーニーとRBV, 組織の経済学, 心理学を基盤とした経営理論, 社会学を基盤とした経営理論, ダイナミックケイパビリティ, 両利きの経営に関して, 誕生の背景と結びつけてそれらの理論を学習していく。					
学習到達目標	経営学の基礎的理論の習得をとおして現実社会におけるビジネスの仕組みがわかるようになる。経営理論を活用して組織運営を円滑に行い, 効果的かつ効率的に業務を推進する能力を習得する。社会のニーズを具現化する価値を創造できるようになる。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	経営学への招待		11	組織の経済学	
	2	テイラーと科学的管理法		12	心理学を基盤とした経営理論	
	3	ファヨールと管理過程論		13	社会学を基盤とした経営理論	
	4	メイヨーと人間関係論		14	ダイナミックケイパビリティ・両利きの経営	
	5	行動科学アプローチ		15	科目評価試験	
	6	近代管理論				
	7	経営組織論				
	8	経営戦略論				
	9	ポーターとSCP理論をベースとした戦略フレームワーク				
	10	バーニーとRBV				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	配布プリント				
	副教材					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：R-22151

科目名		時間数(90分)			
流通論		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	流通の基本的な役割や構造を理解し、現代の情報社会における流通の変化と将来展望について学ぶ。物流、情報流通、小売の進化、プラットフォームビジネスなどを通して、流通の全体像と社会的影響を捉えていく。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通の基本機能と構造を理解する</li> <li>・情報技術と流通の関係を説明できる</li> <li>・現代の流通ビジネスの特徴と課題を把握する</li> <li>・流通の将来について自分の意見を持てるようになる</li> </ul>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	社会を変える流通の役割	9	流通チャンネルの情報化と技術活用	
	2	物的流通の現状	10	国の流通政策と法制度の概要	
	3	情報社会におけるビジネス変化	11	物流業者の種類と役割	
	4	プラットフォームの影響とその仕組み	12	小売業の多様化と戦略展開	
	5	流通チャンネルの構造と意義	13	マーケティングと流通の関係性	
	6	効果的なチャンネル設計とは	14	リテール4.0：次世代小売の動向	
	7	流通における取引慣行と商習慣	15	科目試験	
	8	EC・コンビニ・新業態の台頭			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	エッセンシャル講義 流通論教室	白桃書房		
	副教材	なし			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出 (50%)</li> <li>・科目試験 (50%)</li> </ul>		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：R-21472

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
経営情報学概論		10	20		30
科目概要	ビジネス実務において用いられるロジックツリーなどのフレームワークをもとに、課題解決の進め方について学ぶ。また、大学科目のレポート課題等を題材とし、論理的な課題解決に関する演習を行う。				
学習到達目標	現状を認識する上で必要となる情報収集力や、それを要約して報告書としてまとめる能力、課題解決に結びつけるための問題把握力、論理思考力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	現状の把握と整理			
	2 ～ 4	レポート作成と フィードバック			
	5	意見のまとめ方・論理構成			
	6 ～ 11	レポート作成と フィードバック			
	12	問題の認識と原因分析			
	13 ～ 18	レポート作成と フィードバック			
	19	課題解決策・ロジカルシンキング			
	20 ～ 30	レポート作成と フィードバック			
	使用教材	書籍名		出版社	
主教材		別途指示			
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-20521

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 1-2 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計		
		30			30		
科目概要	総合情報処理 1-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-2	サービスマネジメント/システム監査					
	3	システム戦略/システム企画					
	4-6	経営戦略マネジメント/技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ					
	7-12	企業活動/法務					
	13-15	模試 3					
	16-18	弱点補強 3					
	19-22	弱点補強 言語系					
	23-26	弱点補強 設計系					
	27-30	国家試験					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：A-20531

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 1-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-6	AM対策			
	7-13	PM対策			
	14-16	模擬試験 1			
	17-20	弱点補強 1			
	21-23	模擬試験 2			
	24-30	弱点補強 2			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-20541

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 1-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	AM対策			
	2-4	模擬試験 2			
	5-10	模擬試験 2 解説			
	11	AM対策			
	12-14	模擬試験 3			
	15-20	模擬試験 3 解説			
	21-27	弱点対策			
	28-30	国家試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験（100%）		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
自主課題研究 1-2			30		30
科目概要	自主課題研究 1-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。				
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-30	自主創作(学習)活動			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-20562

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理2(レベル2)		講義	演習	実習	合計		
		60			60		
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-5	ガイダンス、基礎理論		48	サービスマネジメントとシステム監査		
	6-15	アルゴリズムとプログラミング		49	システム戦略と企画		
	16-20	コンピュータ構成要素		50-51	戦略マネジメント		
	21-22	システム構成要素		52-53	企業活動と法務		
	23-26	ソフトウェア/ハードウェア		54-55	模試3		
	27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア		56	弱点補強3		
	28-29	模試1		57-60	国家試験		
	30	弱点補強1					
	31-35	データベース					
	36-40	ネットワーク/セキュリティ					
	41-42	システム開発技術					
	43-44	模試2					
	45	弱点補強2					
	46	ソフトウェア開発管理技術					
	47	プロジェクトマネジメント					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~90点: 秀			
				89~80点: 優			
			79~70点: 良				
			69~60点: 可				
			59点以下: 不可				

科目番号：A-20572

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理2(レベル3)		講義	演習	実習	合計
		60			60
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1	ガイダンス		53-55	模擬試験3
	2-4	コンピュータ科学基礎		56	弱点補強3
	5-7	コンピュータアーキテクチャ		57-60	国家試験
	8-10	基本ソフトウェア			
	11-15	通信ネットワーク			
	16-20	データベース			
	21-25	ソフトウェア工学			
	26-30	システム構成技術			
	31-35	マネジメント			
	36-40	AM対策			
	41-44	PM対策			
	45-47	模擬試験1			
	48	弱点補強1			
	49-51	模擬試験2			
52	弱点補強2				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：A-20582

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理2(レベル4)		講義	演習	実習	合計
		60			60
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	52-54	模擬試験3	
	2-3	情報セキュリティ	55-56	模擬試験3解説	
	4	リスクマネジメント	57	弱点対策	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策	58-60	国家試験	
	13-15	ネットワークセキュリティ			
	16-18	電子メール、Webアプリケーション			
	19-26	認証技術			
	27-30	情報セキュリティマネジメント			
	31	AM対策			
	32-34	模擬試験1			
	35-40	模擬試験1解説			
	41	AM対策			
	42-44	模擬試験2			
	45-50	模擬試験2解説			
51	AM対策				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀		
			89~80点: 優		
		79~70点: 良			
		69~60点: 可			
		59点以下: 不可			

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究2		講義	演習	実習	合計		
			60		60		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-60	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出1 (50%) ・課題提出2 (50%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：A-20601

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 3-1 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計
		50			50
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論			
	6-13	アルゴリズムとプログラミング			
	14-17	コンピュータ構成要素			
	18-19	システム構成要素			
	20-24	ソフトウェア/ハードウェア			
	25	ヒューマンインタフェース/マルチメディア			
	26-27	模試 1			
	28	弱点補強 1			
	29-33	データベース			
	34-40	ネットワーク/セキュリティ			
	41-43	システム開発技術			
	44-45	模試 2			
	46	弱点補強 2			
	47-48	ソフトウェア開発管理技術			
	49-50	プロジェクトマネジメント			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-20611

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 3-1 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計		
		50			50		
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3：「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル3：「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-4	コンピュータ科学基礎					
	5-8	コンピュータアーキテクチャ					
	9-12	基本ソフトウェア					
	13-18	通信ネットワーク					
	19-24	データベース					
	25-28	ソフトウェア工学					
	29-32	システム構成技術					
	33-38	マネジメント					
	39-40	AM対策					
	41-44	PM対策					
	45-47	模擬試験					
	48-50	弱点補強					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験（100％）			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：A-20621

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 3-1 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計
		50			50
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス			
	2-3	情報セキュリティ			
	4	リスクマネジメント			
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策			
	13-15	ネットワークセキュリティ			
	16-18	電子メール、Webアプリケーション			
	19-26	認証技術			
	27-30	情報セキュリティマネジメント			
	31	AM対策			
	32-34	模擬試験1			
	35-40	模擬試験1解説			
	41-49	弱点対策			
	50	科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：A-20631

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究 3-1		講義	演習	実習	合計		
			50		50		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-50	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目名		時間数(90分)					
		講義	演習	実習	合計		
キャリアデザイン1		12		3	15		
科目概要	<p>働くことの意義や考え方、自分自身で主体的に設計していく考え方を学んでいく。また、働くことについては、具体的な事例を用いて話し、より自分自身に必要なこととして認識してもらう。</p> <p>本科目はIT企業で業務に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>						
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能、知識、資格、人脈 業務を遂行するために必要性があるスキル、知識、資格、人脈は、キャリアの基盤を作成する要素を学ぶ</li> <li>・行動特性、思考特性、態度、習慣 それぞれの人が持つ異なったもので、目に見えない要素が何かを学ぶ。</li> <li>・価値観や信念 どうあるべきとどのような価値を提供できるかなど、中長期的な人生のキャリアに関わる要素を学び、自己分析を行っていく。</li> </ul>						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	働くとは何か？ ・金銭面の違い ・生涯収入 ・学生と社会人と違い		8	職業観3 ・仕事選びにおける危険な考え①		
	2	ビジネスマンとしての所作1 ・挨拶、礼 ・名乗り ・座り方		9	職業観4 ・仕事選びにおける危険な考え②		
	3	ビジネスマンとしての所作2 ・前回の復習 ・言葉づかい(職員室対応) ・距離感 ・振る舞い		10	職業観5 ・仕事を決めることとは①		
	4	ビジネスマンとしての所作3 ・前回の復習 ・電話対応		11	職業観6 ・仕事を決めることとは② ・モチベーションチェック		
	5	ビジネスマンとしての所作4 ・総復習		12	職業観7 ・仕事を決めることとは③		
	6	職業観1 ・どんな仕事があるのか？ ・学生と社会人の違い(詳細)		13	職業観8 ・IT系の業務は未来を広げるか		
	7	職業観2 ・視野狭窄 ・AWAKE		14	職業観まとめ		
			15	評価試験			
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	なし					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			